

## 男女共同参画週間を迎えて

「だれもがどれも選べる社会に」をキャッチフレーズに今年も男女共同参画週間を迎えました。

だれにとっても使いやすい支援制度、その時々で柔軟に選べる働き方は、健康で生きがいをもって働く上で重要です。

制度があっても使いづらい、使えなかった、という訴えは男女共同参画を熱心に進めている組織であってもしばしば聞かれることです。

現在ある制度を「だれでもどれも」選べ、利用したいときに利用できるのか、点検する時期に入ったのかもかもしれません。

森林研究・整備機構の取組がますます発展し、機構で働くすべての人々の幸せに寄与することを強く望んでいます。

埼玉大学 ダイバーシティ推進センター  
菅野 摂子

